

日本脳性麻痺の外科研究会誌 投稿規定

平成 28 年 10 月 29 日改定

1. 主著者は原則として日本脳性麻痺の外科研究会の会員であること。
2. 研究会誌に掲載された論文の著作権は、日本脳性麻痺の外科研究会に帰属する。
3. 倫理的配慮について
本誌に投稿される論文における臨床研究は、ヘルシンキ宣言を遵守したものであること。患者の名前、イニシャル、病院での患者番号、生年月日、手術日、入院日など、患者の同定を可能とする情報を記載してはならない。
4. 原稿の第 1 頁に、題名、著書名、所属、キーワードを以下の順で記す。
 - (1) 題名(和文)
 - (2) 著者名(和文)
 - (3) 題名(英文)
 - (4) 著者名(英文)
 - (5) 所属(日本語と英語を併記)
 - (6) キーワード(日本語と英語を併記)(3 ～ 5 個)
5. 400 字以内の和文要旨または 200 語以内の英文要旨を付す。
6. 文献は以下の記載方法に従う。
 - (1) アルファベット順とする。
 - (2) 本文中に見出し番号を上付きで入れる。
 - (3) 記載例。
<雑誌>
 1. 松尾 隆, 元 豊彦, 福元真一, 神前智一, 菅野徹夫, 菅沼悦子, 森田定雄, 坂本公宣, 池田啓一, 下河辺征平. 脳性麻痺の痙性, 固縮, アテトーゼ不随意運動に対する整形外科的選択的緊張筋解離術. 脳性麻痺の外科研究会誌 1998 ; 8 : 38-39.
 2. Matsuo T, Hara H, Tada S. Selective lengthening of the psoas and rectus femoris and preservation of the iliacus for flexion deformity of the hip in cerebral palsy patients. J Pediatr Orthop 1987; 7: 692-698.
<単行本(複数著者)>
 3. 原 寛道. 脳性麻痺. 杉岡洋一, 岩本幸英, 編. 神中整形外科, 上巻, 22 版. 東京: 南山堂 ; 2004 : 695-714.
 4. Dutkowsky JP. Cerebral palsy. In: Canale ST ed. Campbell's Operative Orthopaedics, 9th edition. St. Luis: Mosby; 1998: 3895-3969.
<単行本(単一著者)>
 5. 松尾 隆. 脳性麻痺と機能訓練: 運動障害の本質と訓練の実際, 第 2 版. 東京: 南江堂; 2002 : 1-47.

6. Matsuo T. Cerebral Palsy. Spasticity-control and Orthopaedics. An Introduction to Orthopaedic Selective Spasticity-control Surgery. Tokyo: Soufusha; 2002: 129-148.
7. 図および表を明確に区別し、図には説明文をつける。
8. 本文原稿および表は用紙に印刷したもの、および、CD に保存したものの両方を提出する。
9. 図はそのまま製版できる鮮明なもの、および、CD に保存したものの両方を提出する。
10. 掲載料・別冊料金
仕上がり6頁まで無料。それを超えた場合は、1頁につき2,000円を著者が負担する。なお、質疑応答も論文に含めて計算する（第9, 13, 18回脳性麻痺の外科研究会総会議決事項）。別冊は20部1単位で3,000円を著者が負担する。
11. 締め切り
研究会終了日より2ヵ月以内に提出する。

問い合わせ先および送り先

〒920-3114 石川県金沢市吉原町口6番地2
石川整肢学園金沢こども医療福祉センター内
日本脳性麻痺の外科研究会事務局 櫻吉啓介
電話 076-257-3311 Fax 076-257-3394
e-mail sakurarakichi_k@yahoo.co.jp